

- 2 新・ふれあいプラザ供用開始
- 3 ホームページが便利に
- 4-5 特集 地域で子育て世帯を支える  
みんなで子育て
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ



## こま まわる 独楽

三段重ね・手乗り独楽は、認定NPO法人・芸術と遊び創造協会主催のグッド・トイ2023を受賞。市内企業から障がい者支援の一環で児童館に寄付された

### 障がいへの関心や理解を深める 障がい者手作り製品の展示・即売会

市内の事業所で働く方の手作り製品を販売します。

《日時》12月4～8日 10時30分～14時

《場所》市役所本庁舎

《販売品》ポストカード、アクセサリなど

※製品は、市まるごとショップ「あつまる」で常時販売

#### 知ることから始めよう！

精神障がいへの理解を深めるため、子ども・大人向けのリーフレットを公開しています。

障がい福祉課 ☎225-2221



詳細はこちら

愛TV 12/1～

障がい福祉課 ☎225-2221

シューっと音を立てながら回る赤・緑・青・黄色のこま。厚木北児童館では、勢いよく回る土台に子どもたちが真剣なまなざしで小さなこまを重ねています。カラフルに塗られた「三段重ね・手乗り独楽」は、飯山にある障がい者就業支援作業所「つばき作業所」で作られています。理事長の横見守明さんが「子どもの時に遊んだ記憶が、大人になっても残るおもちゃにしたい」という願いを込めて開発。一つ一つ手作りで仕上げられています。材料となる木材を機械にセットし、こまの形に削り出す作業は、作業所の利用者たちが担当。図面を見ながら大きさや形を確認し削っていきます。「従業員も高齢になってきているので、技術を伝承していきたい」と話す横見さん。誰にでも作業できる工程を考えています。

12月3～9日は障害者週間です。誰もが暮らしやすい社会を目指し、一人一人ができることを考えてみませんか。

つながる思い

Zoom Up

憩いやにぎわいを生む健康増進拠点に

# 新・ふれあいプラザ供用開始

再整備を進めてきたふれあいプラザが、12月1日にオープンします。プールやトレーニングルーム、温浴室の機能をさらに充実させ、新設したスタジオでヨガ・ダンス教室などを開催。皆さんに親しまれる健康増進施設として生まれ変わります。

ふれあいプラザは、環境センターのごみ焼却余熱を使った温水プールなどを備え、1990年に開館。施設が老朽化してきたことから、2018年から再整備を進めてきました。整備には、民間資金活用による社会資本整備（PFI）の手法を採用。七つの企業で構成するふれあいプラザPFIパートナーズ（株）が、民間の知識や経験を生かし、39年まで運営します。

## 健康増進のために機能を充実

再整備は、地域の声を取り入れなが



場所は金田1156番地。130台分の駐車場を設けた



メインのプールは25m 8レーン（2レーンは歩行用）

再整備の検討に携わった金田東部自治会長の星野晃男さん（67・金田）は「地元の皆さんの意見を取り入れてもらい竣工を迎えた。散歩の途中で足湯に立ち寄り会話をするような、新たな

ら進めてきました。施設が地域にぎわいを広げる場所になるよう、新たに無料の足湯を設置。プールや温浴施設、トレーニングルームの機能を充実させ、他に、気軽に運動できるスタジオも新設しました（左欄参照）。さらに、健康状態や体力などをチェックできる未病センターや、開放的な休憩スペースも設けています。

再整備の検討に携わった金田東部自治会長の星野晃男さん（67・金田）は「地元の皆さんの意見を取り入れてもらい竣工を迎えた。散歩の途中で足湯に立ち寄り会話をするような、新たな

新たな施設は、環境にも配慮しています。ごみ焼却余熱の利用に加え、25年12月以降は、新ごみ中間処理施設で発電した電気を活用。再生可能エネルギーを多く利用した施設となります。生まれ変わった施設の機能を生かし、地域に根差した健康増進拠点を目指していきます。

## さらなる機能充実に向けて

コミュニティの場になってほしい」と期待を込めます。

愛TV 12/1~

## リニューアルのポイント

### 【施設の内容】

プール…（新設）流水プール、ジャグジー  
トレーニングルーム…（拡充）機器を増設  
温浴施設…（増設）浴槽を男女各二つに  
（新設）サウナ、水風呂

### 【新規】

足湯…施設の外に無料の足湯コーナーを設置  
スタジオ…健康体操やヨガなどの教室を開催  
軽食コーナー…自動販売機を設置  
休憩室…にぎわいを生むオープンスペース

環境事業課 ☎225-2791

## 利用案内

利用には、年1回の登録が必要です。居住地などが分かる物を持ち、施設窓口にお越しください。



詳細はこちら

### 利用日時

	①平日 7・8月 (土・日曜、祝日含む)	②土・日曜、祝日
プール	9~21時	~19時
温浴	10~20時	~18時
トレーニングルーム	9~21時	~19時

休館日：第3木曜、12月29日~1月3日、施設点検日  
閉館時間：①22時 ②20時

### 利用料金

	区分	市内料金
プール	高校生以上	500円
	小・中学生	200円
	幼児	100円
温浴	高校生以上	470円
	小・中学生	180円
	幼児	80円
トレーニングルーム	高校生以上	400円

市内料金は、厚木市・愛川町・清川村在住  
在勤在学の方が対象。回数券や月額利用券あり。  
詳細はふれあいプラザHPに掲載



幼児用プール



サウナ



無料の足湯

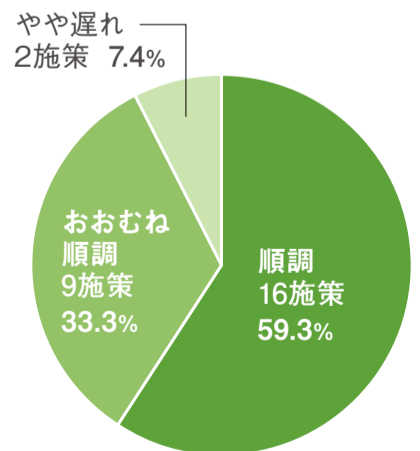
## まちづくりの進捗を確認

## 施策評価の結果

施策評価は、将来のまちづくりの方向性を定めた総合計画の進捗を検証する仕組みです。市民実感度調査の結果、保育施設への入所率などの代表となる指標、ごみ減量化・資源化推進事業などの事業指標の三つの項目の実績から各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。結果はグラフのとおりで、遅れとなった施策はありませんでした。

### 【今回のポイント】

- 施策全体の9割以上が順調またはおおむね順調
- 実感度は前年度と比べて、77項目中12項目で上昇
- 特に高かったのは「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」
- 行動変容は前年度と比べて、27項目中18項目で上昇
- 幸福度は、「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計が94.2%となり、前年度から横ばい



詳細はこちら



企画政策課 ☎225-2455

リニューアルのポイント



■トップページ

新着情報

市の情報が一目で分かるよう、まとめて掲載。「全て」と「イベント・募集」ページの切り替えが可能です。

広報・SNS

デジタル版の「広報あつぎ」や市のSNSアカウント、市内の出来事をお知らせする「街の話題」を掲載。

■特設サイト



「おおきな〜れ!!」

子育て情報をまとめたサイト。地域全体で子育てに取り組むイメージをデザインしました（詳細は4・5面に掲載）。

「あつぎのイベント」

主要なイベントを中心に、年間を通して市が開催するイベントを集約。盛り上がり伝わるよう写真を大きく配置しました。



「あつぎSDGsポータルサイト」

市や「あつぎSDGsパートナー」に登録した企業・団体などの取り組みなど、市内のSDGsに関する最新情報を掲載。

Q Zoom Up

# 市の情報や魅力を分かりやすく発信 ホームページが便利に

市のホームページが、12月1日から新しくなります。情報を探しやすいよう、トップページに新着情報や街の話題などを追加。子育て・イベントの特設サイトも公開するなど、分かりやすく情報を発信します。

インターネットの普及により、ホームページやSNSでの情報発信の重要性が増しています。昨年、市が実施した情報化のアンケートでは、希望する行政情報の入手方法として市ホームページを選んだ方が41.4%に上りました。市では、ホームページの利便性を高めるため、2021年のリニューアル後に寄せられた皆さんの声を生かし、より見やすく、探しやすいページに更新します。

## トップページの内容を充実

これまでのホームページは、写真やイラストなどを大きく表示し、目の引きやすさを優先したデザインでした。一方、「情報を探しにくい」「どれが新しい情報か分からない」などの声も寄せられていたことから、トップページの内容の見直しを開始。一目で新着情報や、優先的に知らせたい内容が分かるよう、項目を追加します。

さらに、知りたい情報にたどり着きやすくなるよう「よくある暮らしの場面」「オンラインサービス」の項目も新たに追加。アイコンを効果的に使う

ことで文字の増加を抑え、情報を増やしつつ視認性も維持しています。

## 特設サイトを新たに開設

トップページのリニューアルに合わせて、二つの特設サイトを開設します（左欄参照）。子育てサイトでは、従来のページデザインを一新。イラストを多用し、親しみやすさを向上させた他、年齢別の検索ボタンを設けました。イベントの検索には、あつぎ鮎まつりや、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸など、市内で開かれる催しを集約して掲載。イベントの様子や魅力が伝わりやすくなるよう、写真を大きく表示します。9月に開設したSDGsの特設サイト（左欄参照）には、SDGsの達成目標や企業名からパートナー企業・団体などを検索する機能も新たに備えます。

インターネットを介した情報発信の需要は、今後さらに高まっていきます。市では来年3月、ホームページに精度を高めた新たな検索エンジンを導入するなど、今後も分かりやすい情報発信に力を入れていきます。

☎広報課 25-2040

## 新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は11月14日時点

個別接種で実施しています。希望する方は予約をお願いします。

**令和5年秋開始接種**  
初回接種を終え、最終接種日から3か月経過した方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

**個別接種**  
《期間》2024年3月31日まで 《場所》市内約60医療機関  
《ワクチン》①12歳以上＝ファイザー・モデルナ  
②小児（5～11歳）＝小児用ファイザー・モデルナ（6～12歳）  
③乳幼児（生後6カ月～4歳）＝乳幼児用ファイザー

**初回接種**  
オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。ファイザーは、接種時期により3回目まで接種できない場合があります。  
《接種場所》個別接種を実施する市内医療機関  
《ワクチン》①12歳以上＝ファイザー・モデルナ  
②小児（5～11歳）＝小児用ファイザー・モデルナ  
③乳幼児（生後6カ月～4歳）＝乳幼児用ファイザー・モデルナ

※詳細は市HPに掲載

☎新型コロナウイルス市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

## 流行に注意 インフルエンザの予防を

例年より早い10月に県内で流行注意報が発表されました。感染対策を徹底し予防しましょう。

☎健康長寿推進課 ☎225-2174

◆基本的な予防方法

- ・帰宅時や食事前などの手洗いや小まめな換気を徹底
- ・必要に応じてマスクを着用
- ・十分な食事・睡眠などによる健康管理
- ・予防接種を実施
- ・空気が乾燥しないよう適度な湿度（50～60%）を保つ
- ・人混みへの外出を控え、症状が出た場合には早めに医療機関を受診

インフルエンザ予防接種の助成（2024年2月29日までの接種分）  
重症化しやすい子どもや高齢者などを対象に、予防接種費用を助成しています。

☎健康づくり課 ☎225-2203

- 生後6カ月～小学6年生  
《助成金額》1000円 ※期間中2回まで
- 65歳以上の方  
《自己負担額》1500円（接種費用）

助成の詳細や実施医療機関は市HPに掲載

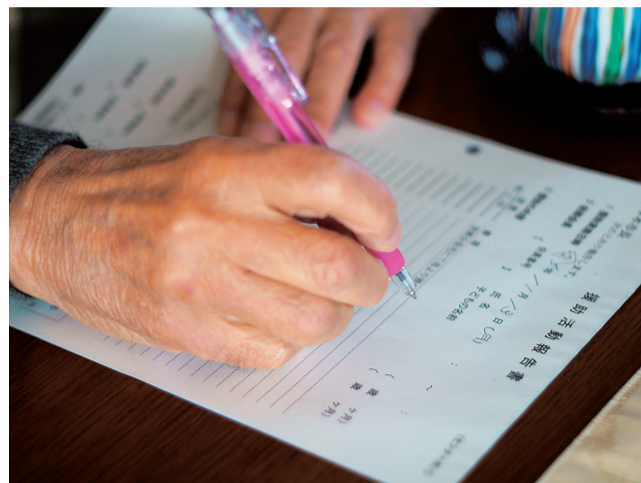
子ども向け 高齢者向け



預かった子どもと遊ぶ秋田さん(左)。「男性にもできることはある」と話す



初回利用時には親子、ファミサポ職員と打ち合わせ



活動後に提出する報告書

# みんな子育て

## 特集 地域で子育て世帯を支える



夕飯の内容を依頼者と相談



お礼にもらった手紙



子育て支援センターに活動を報告



親子と触れ合う小池さん(右)

子どもの送り迎えなどを援助  
**ファミリー・サポート・センター提供会員**

保育所への送迎や、一時的な預かりなどを提供する提供会員を募集しています。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができ、講習会を受講できる方。

子育て支援センターや公民館にある申込書と写真2枚を、直接ファミサポ事務局 ☎225-2933へ。2024年2月の講習会を受けて活動開始。

仕事・費用・利用方法などの詳細はこちら

☎子育て支援センター ☎225-2922

**互いに理解し 関わるのが大事**  
湘北短期大学保育学科教授 高木 友子さん(54)

子どもは、さまざまな価値観を持った人たちと触れ合うことで刺激を受けて成長します。しかし、個人の考えを重視する社会情勢やコロナの流行により、人との関わりが減少しています。人と接する機会が減ると、子どもの発達に数カ月の遅れが生じるなどの研究データもあります。家族だけでは、子どもが外部から受ける刺激はパターン化されてしまうので、自治会や子ども会、近所の方など、身近な人から関わりの輪を広げてみてはいかがでしょうか。

子育てを手伝う方も、価値観の多様化を理解し、思いやりの気持ちを持って接すると良いのではないのでしょうか。

☎保育課 ☎225-2231

**我が子のように**

妻の美弥子さんと2人の娘を育ててきた秋田さん。「30年前に子どもたちがみんな巣立ち、寂しさがあつた。時間がきたら、地域の子どものお世話をしたいと考えていた」。20年前から市内で暮らし、市の広報紙でファミサポのことを知った秋田さんは、定年退職をきっかけに夫婦で講習会を受

**地域で支える**

「昔は近所の子どもをみんな知っていた。もっと地域のつながりがあれば子育ても楽になるはず」と話す秋田さん。「支援の受け皿が増えてほしい。誰にでもできることはあるはず」と力を込めます。体が元気なうちは支援を続けていこうと切り切る秋田さん。夫婦で力を合わせ、笑顔で子どもたちを迎えています。

**できることを続ける**

ファミリー・サポート・センター提供会員 秋田 征男さん

「今日はよく来たね。トランプでもして遊ぼうか。どんなゲームを知っているかな。自宅で預かる子どもたちに優しいまなざしを向けるのは秋田征男さん(82・寿町)。「子どもたちは大切な存在。みんな孫のように見えるね」。ファミリー・サポート・センター(以下ファミサポ)の提供会員として、20年以上地域の子育て支援に携わっています。

子育てをしていると、少しだけ助けてもらいたくなくなったり、話を聞いてほしくなったりする時が誰にでもあるはず。市では、子育て支援センターを中心に、地域の皆さんの力を借りて子育て世帯を支える仕組みをつくっています。特集では、子育て世帯と地域の関わり方を追いました。

☎子育て支援センター ☎225-2922

け、提供会員になりました。ファミサポは1994年、全国的に始まった取り組みです。市内では、習い事の送迎や保育所・幼稚園への迎えなど年間3000件を超える依頼があります。援助に当たる提供会員は10月時点で295人。秋田さん夫婦も月に2回ほど子どもを預かっています。「悪いことをしたら叱るし、遊ぶときは一緒に楽しむ」と、自分の子どものように接しています。昨年には、11年前に3年間預かってきた子どもが成人式の晴れ着姿を見せに来てくれる出来事がありました。「突然で驚いたけれど、うれしかった」と目を細めます。

子どもから広がる輪  
ほっとタイムサポーター 小池 美智代さん

「こんにちは、今日も児童館で楽しく遊んできたのかな。子どもたちに優しく声を掛けるよ。小池美智代さん(毛利台)は、手際よく夕飯の支度にとりかかります。小池さんは、6カ月以下の子どもがいる家庭を手伝う「ほっとタイムサポーター」。市内各地の家庭を訪れ、おむつ替えや料理、洗濯、掃除など、育児や家事のサポートをしています(下欄参照)。

**子どもたちと接する喜び**

ほっとタイムサポーターは、出産を終えて間もない世帯を支えるため2013年に市が始めた取り組みです。子育て支援センターが仲介役を担い、支援してほしい世帯とサポーターする地域の人をつないでいます。現在は51人のサポーターが登録。年間約160件の支援依頼に応じています。小池さんもその一人。制度が始まったときから登録し、活動を続けています。「こんなに長く子どもに関わる仕事をするとは思っていません」と笑う小池さん。サポーターを始める前、自身の育児が落ち着き、何か子どもと関わることをしてみたいと思っていました。児童館で働きながら、日々子どもたちと関わるうちに、楽しさを感じるようになっていきました。

サポーターへの仕事の依頼は、子育て支援センターが受けた支援要請の内容から、対応できる人に連絡します。

縁を大切に

小池さんは長年サポーターとして活動する中で、多くの家庭と関わってきました。「最近では子育てをするお父さんも増えて沐浴やおむつ替えなども一緒にしてくれる」と話す小池さん。訪問先では家族との会話を楽しみながら活動しています。小池さんたちサポーターは、子育て支援センターで研修を受け、沐浴や子どもとの接し方を学んでいます。

長年活動続ける小池さんの周りには、たくさんつながりが生まれています。「道端で以前関わったお母さんに声を掛けてもらったり、支援が終わっても共通の趣味が分かり、付き合いが続いたりしている」と話す小池さん。子育て世帯を支える活動から生まれた縁を大切にしながら、今日もどこかの親子の元を訪ねています。

サポーターは指定された時間に依頼者の自宅を訪ね、2時間活動します。小池さんに依頼している後藤奈緒子さん(戸室)は「産後3カ月の夫の育児休暇が明け、家事と二人の育児を基本的に一人でこなさなければならなくなつた時、児童館の方に勧められサポーターのことを知った。週に1日、夕飯のことを考えない日を作ることができ、心の余裕につながっている」と話します。後藤さんは小池さんが夕飯の支度をしている間、下の子をお風呂に入れたり、上の子におやつを食べさせたりして、有効に時間を使っています。小池さんは「いつも楽しい時間をいただいている。帰る時に『また来てください』と言われると本当にうれしい」とほほ笑みます。

地域の仲間と子育て交流  
**コミュニティ保育**

地域で親子のグループを作り、園舎や公園などで交流する「コミュニティ保育」が2団体あります。

**自主保育グループのびのび園 たんぽぽコミュニティ保育**

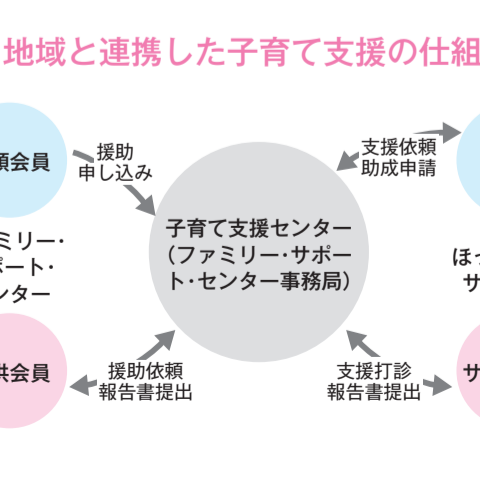
入園を希望する方や運営協力に興味がある方は、各園HPから問い合わせてください。

☎保育課 ☎225-2231

みんなで支え 助け合える

のびのび園会員 鈴木 涼夏さん(32・吾妻町)

5年ほど前から子どもを入園させています。以前は2人の年子を家だけで育てるのが大変でしたが他の保護者の方が一緒に支えてくれるので、子育てが楽しくなりました。



子育てサイトをリニューアル

市の子育てサービスを効果的に伝えるため、デザインやレイアウトを変更しました。

■公開日 12月1日

■リニューアルのポイント

- ・視認性を重視したレイアウト
- ・「妊活」カテゴリを新設
- ・年齢別の検索でコンテンツを見つけやすく

サイトはこちら

☎こども育成課 ☎225-2262

妊産婦を支援しませんか  
**ほっとタイムサポーターを募集**

妊娠中や出産後の方の自宅を訪問し、育児や家事などの手伝いをするサポーターを募集しています。

《対象》①保育士②ホームヘルパーで養成講習3級以上を修了③介護福祉士④保健師または看護師⑤市子育てアドバイザーのいずれかに該当する方

☎子育て支援センターや市HPにある申請書を直接、子育て支援センターへ。

☎子育て支援センター ☎225-2922

## 子育てに優しい社会へ

秋のこどもまんなか月間街頭キャンペーンを実施



啓発物品を手渡す参加者

活動に参加した青少年指導員連絡協議会の川田房江会長（68・飯山）は「子どもが伸び伸びと育つためには、周りの理解が欠かせない。活動を見た人が身近な子どもたちの様子を思い浮かべてくれたらうれしい」と話してました。

11月の「秋のこどもまんなか月間」に合わせ、本厚木駅周辺で、市や青少年関係団体、ジュニアリーダーなど約40人が子ども・子育てに優しい社会づくりを呼び掛けました。

参加者たちは本厚木駅北・南口に分かれ、「まちぐるみで、こどもや子育てを応援しよう！」などと書かれたボールペンとティッシュの啓発物品1000セットを通行人に手渡しました。



## スポーツの聖地づくりのスタートに

市内で日本ハンドボールリーグ女子の公式戦を初開催

日本ハンドボールリーグ女子の公式戦が10月、市内で初めて開催された。市内に所属企業のグループ会社があるチーム「BLUE SAKUYA」が荻野運動公園で開幕戦に臨み、勝利しました。

試合前日に市役所を訪れた北原佑美主将は「VAMOS・頂の先へ」をチームスローガンに練習してきた。昨シーズンは2位と悔しい思いをしたので、日本一を目指して頑張りたい」と話しました。山口市長は「市で開幕戦を迎えられてうれしい。スポーツの聖地づくりのスタートとなる試合を、市を挙げて応援する」とエールを送りました。



右から2番目が北原主将

「BLUE SAKUYA」は世界選手権日本代表候補が4人所属。3月3日には荻野運動公園でHC名古屋と対戦します。

## 人も動物も幸せに

動物フェスティバル神奈川inあつぎを開催

動物愛護・福祉や適正飼養への理解を深めてもらおうと厚木中央公園などで動物フェスティバルが開催されました。

今年は「人も動物も幸せに」をテーマに10年ぶりに市内で実施されました。公園では盲導犬との触れ合いやデモンストレーション、保護犬・猫の譲渡会、動物愛護・福祉に関する展示、動物をモチーフにしたアクセサリーの販売などのブースが出演。厚木商工会議所では、犬猫の長寿表彰などの式典、ペット防災や人と動物との暮らしを学べる講座が開かれました。



盲導犬が椅子まで導くと会場から拍手が起こった

愛犬と訪れた長嶋理恵子さん（42）は「盲導犬のデモンストレーションが見られるのと、犬用のおやつが購入できるのを楽しみに来た」と笑顔で話しました。

荻野運動公園を発着点に健脚を競う「あつぎマラソン」を10月に開催しました。市内外から974人が参加し、秋の厚木路を駆け抜けました。

今年で38回目を迎えたあつぎマラソンは、スポーツの秋に合わせて毎年開催。ゲストラナーとして箱根駅伝5区の山登りで活躍した柏原竜二さんが参加しました。選手たちは各部門に分かれ、開始を告げる号砲で一斉にスタート。沿道には多くの観覧者が集まり、選手たちに拍手と声援を送られました。

## 厚木の秋の風物詩

あつぎマラソンに974人が出走

男子・29歳以下の部で優勝した浅岡祐希さん（27）は「自分のペースを乱さず最後まで走れたと思う。優勝できたことはうれしいが、記録の更新ができなかったのは悔しい」と話しました。



勢いよくスタートする選手たち

### 第9回 みんなで目指そう

# カーボンニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

**今月の挑戦 プラスチックを正しく分別しよう！**

「プラ」マークが付いている物はリサイクルへ

CNでのごみ焼却によるCO<sub>2</sub>排出量は、石油からできたプラスチックを燃やした量で算定されます。そのため、CN実現にはもえるごみになりやすいプラスチック製容器包装の分別の徹底や、身の回りのプラスチック製品を増やさない工夫が必要です。

身近にできることから取り組んでみませんか。

CNプラットフォームでは、CO<sub>2</sub>排出量の算定方法や効果的なごみの分別を詳しく知れるページを公開しています。

環境政策課 ☎225-2749

厚木市長 山口貴裕

皆さんは、未来の地球環境を守るために、普段何に取り組んでいますか。すぐには目に見える成果を実感しにくく、環境問題を自分ごととして捉えるのは、簡単なことではありません。

10月下旬、「あつぎ環境フェア」を開催しました。厚木中央公園を会場に、市民団体や企業、大学の皆さんが35のブースを出展してくださいました。会場を回ると、ソーラーカーや電気自動車をはじめ、太陽光を

使った調理器具、間伐材での工作体験などが用意され、たくさんの方の親子が楽しみながら環境の事を学ぶ姿がありました。私も各ブースで皆さんから話を聞き、こうしたイベントで体験として環境問題を身近に捉える大切さを改めて感じました。

市では今年3月、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロ「カーボンニュートラル」実現に向けたロードマップを作りました。次年度からは、公共施設に太陽光発電システムや蓄電池などを導入していきます。実現には、ごみの分別や省エネ家電の選択など小さな積み重ねも欠かせません。私もエコバッグの使用や小まめな消灯をこれからも続けていきます。みんなでできることに取り組み、美しい環境を未来につないでいきましょう。

出展された神奈川工科大学のソーラーカー

# タウンガイド

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 愛TV/12/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「冬のイルミネーション」  
 #11月1日撮影  
 #厚木中央公園  
 #イルミネーション  
 #niceatsugi  
 市公式インスタグラムで公開中



### 観覧者募集

## 市民参加ミュージカル「トムソーヤー」



2022年の上演作品「西遊記」

中学生以下の公募キャストによるミュージカル公演を開催します。劇団指導者の下、練習を重ねた舞台をぜひご覧ください。

《日時》2024年2月12日 14時～  
 《場所》神奈川工科大学厚木市子ども科学館  
 《定員》50人 ※全座席指定、3歳以上は1席  
 《費用》無料

☑2024年1月5日までに講座予約システムへ。抽選。

☎文化生涯学習課☎225-2508



詳細はこちら

### ちびっこサンタパレード

12月24日、11～15時。アミューあつぎ。サンタクロースの仮装をして館内を行進する。定員90人。無料。☑不要。☎商業にぎわい課☎225-2840。詳細はアミューあつぎHPに掲載。

### 斎場施設見学会

12月16日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☑12月1～15日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

### 「3010運動」に協力を

食べ残しを減らすため、会食などの席で最初の30分と最後の10分は、自席で食事を楽しむ運動です。参加して食品ロスを減らしましょう。☎環境事業課☎225-2793。

### 年末の片付けは計画的に

清掃後に出たごみは分別して集積所に出してください。環境セン

ターに持ち込めるのは、粗大ごみとせん定枝です。粗大ごみの戸別収集や環境センターへの持ち込みは事前予約制。インターネットで予約できます。☎環境事業課☎225-2790。



### 12月4～10日は人権週間

人権は、誰もが生まれながらに持っている権利で、幸せに生きるために等しく尊重されるべきものです。人権の大切さを考えましょう。☎市民協働推進課☎225-2215。

### 古民家岸邸の臨時休館

12月15日～1月3日は施設修繕・年末年始休業のため休館します。

☎あつぎ郷土博物館☎225-2515。

### にぎわい美化清掃

金曜、15時～15時30分(雨天中止)。本厚木駅周辺のゴミを拾う。参加者にはまちのコイン「アユモ」を進呈。☑当日直接セーフティステーション番屋へ。☎商業にぎわい課☎225-2840。



### アイドリングストップに協力を

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう。10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料

を消費します。窒素酸化物の排出量削減に向けて、協力をお願いします。☎生活環境課☎225-2752。

### みんなの声でつくるまち

#### 《パブリックコメント》

■開発許可等基準条例の改正  
 ■災害危険区域等に存する建築物等に代わる建築物等の基準制定

☎開発審査課☎225-2441

◆第4次子ども読書活動推進計画の策定

☎中央図書館☎223-0033

いずれも《閲覧期間》12月1日～1月4日《閲覧場所》中央図書館、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP、■開発審査課《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

厚木市 市民参加

検索



## あなたの声を届けよう インターネットモニターになりませんか

広報あつぎや市広報番組「あつぎ愛テレビ」などに意見を寄せる方を募集しています。

**対象** 市内在住在勤在学の16歳以上で、Eメールの送受信とケーブルテレビまたはインターネットで番組を視聴できる方

**内容** 毎月1回、Eメールで送るアンケートに意見や感想などを回答

☑市HPから随時受け付け。

☎広報課☎225-2043



登録はこちら

### いつでもどこでも発行

## 証明書交付をコンビニで

マイナンバーカードを使って、コンビニエンスストアのマルチコピー機で住民票の写しなどの証明書が発行できます。

☎市民課☎225-2110

《証明書の種類》住民票の写し(現在住民の方のみ)、印鑑登録証明書

《手数料》1通300円

《時間》6時30分～23時

※12月29日～1月3日とメンテナンス日を除く。

詳細は市HPに掲載

《場所》一部を除く全国のコンビニエンスストア他



操作方法はこちら

### ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

### 11月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆歳を重ねても健康で自分らしく生きたいと思った／30代女性  
 ◆70歳からタクシー助成券を使えるようになるのがうれしい／60代男性  
 ◆火災予防を心掛けて安心・安全な生活を守りたい／30代男性  
 ◆少しずつ外に出ている色々な方と交流していきたい／70代男性  
 ◆家族と一緒に大道芸イベントを楽しみたい／30代女性  
 ◆モズの「はやにえ」を実際に見てみたい／70代女性

### 編集後記

私は現在、0歳と2歳の子どもを育てています。育児で子どもの成長を見られるのはうれしいですが、少しだけ休んで気分転換したいと感じる時もあります。特集の取材をしていくうちに、地域には子育てを支援してくれる人たちがたくさんいることに改めて気づかされました。これからはあまり肩の力を入れ過ぎず、周りの人たちの協力もいただきながら楽しんで育児に励みたいと思います／永井

書家

## 金澤翔子展

世界で活躍する書家・金澤翔子さんの展覧会を開催します。力強い筆跡のびょうぶ書作品12点を展示。迫力ある作品を鑑賞し、文化芸術を肌で感じませんか。

☎文化生涯学習課 ☎225-2508

《期間》12月21～26日 10～16時(26日は12時まで)

《場所》あつぎ市民交流プラザ

入場無料

## 金澤さんの書道パフォーマンス

《日時》12月23日 14時～14時30分

《内容》縦横140㍉の用紙に大きな筆を使い「愛」を書く

☎不要。先着100人。

## 映画「共に生きる 書家金澤翔子」舞台あいさつ

《日時》12月23日 11時30分～(上映終了後)

《場所》あつぎのえいがかんkiki

《対象》11時30分からの回を見た110人

☎映画チケット(通常)を購入。先着順。※映画は12月22～28日に上映

## 書道協会によるワークショップ

《日時》12月23日 14時30分～16時

《内容》好きな言葉や字を書く《費用》無料

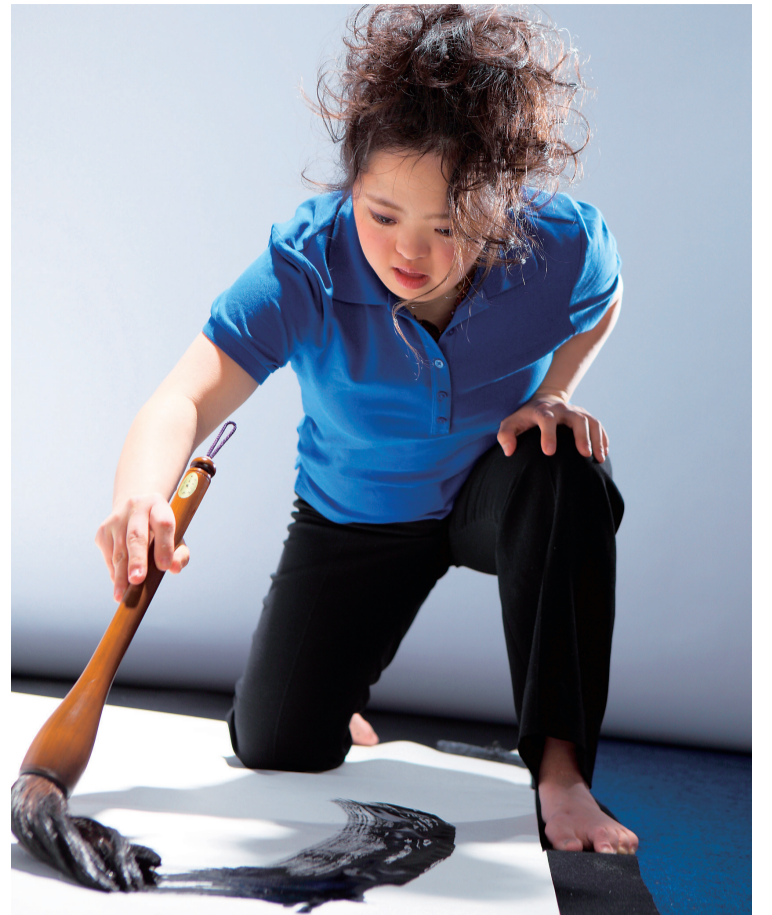
☎不要。



詳細はこちら



聖地に・厚木市



《プロフィール》東京都出身。5歳の時、書家である母から教わり書を始める。現在は国内外で個展などを開き活躍中。代表作「共に生きる」を合言葉に障がい者や被災地支援などでも活動

## 年末の交通事故に注意

外出機会や交通量が増える年末は、交通事故が多く起きます。交通ルールやマナーを守り、事故を防ぎましょう。☎交通安全課 ☎225-2760

## ◆交通事故防止の徹底を

12月11～20日は「年末の交通事故防止運動期間」です。一人一人が交通安全の意識を持ちましょう。

- ・道路を横断する時は安全確認を徹底
- ・夜間外出時は明るい服装や反射材を身に付ける
- ・夕暮れ時は早めにライトを点灯
- ・飲酒運転は絶対にしない、させない
- ・飲酒を伴う会合などには自動車・自転車で行かない
- ・二輪車・自転車の乗車時はヘルメットを正しく着用し、悪天候時は利用を控える

## ◆厚木警察署交通部隊出発式

《日時》12月9日 14時～(雨天中止)

《場所》厚木中央公園

《内容》県警音楽隊によるドリル演技、服装・車両点検など



## 一日署長に山崎投手

プロ野球・横浜DeNAベイスターズの山崎康晃投手が一日警察署長として参加します。

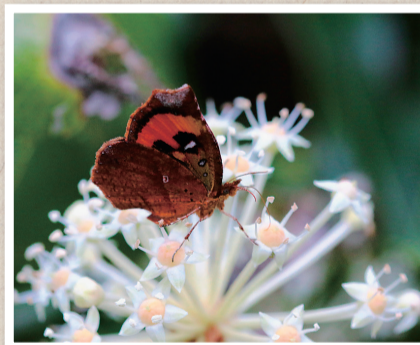


## 30周年 自然歳時記

## ●イカリモンガ●

チョウ目イカリモンガ科

チョウと同じ昼行性のが、見た目も美しい。開翅長は35㍉ほどの大きさ。羽のオレンジ色の模様が、いかりのような形をしているのが名の由来となっている／上荻野の林縁で見つけた。 写真・文／吉田文雄



初冬になり、ヤツデの花が咲き始めた。小さな球状の白い花が咲きいつ見てもチョウやが、アリアハチたちが集まっている。

小さなチョウが止まったと思いきやカメラを向けるとよく似た美しいイカリモンガだった。羽を立てて止まり色も鮮やか、そして昼間に活

動するのでチョウと間違えやすい。チョウやがは、鱗翅目で鱗粉に覆われるのが共通点だ。

あつぎ郷土博物館では、「知らなかった蛾の魅力」という素晴らしい特別展が開催されている。昆虫たちの不思議さと生きる知恵や工夫を学びたいものだ。

厚木市の人口  
(11月1日現在)



世帯数 10万5039世帯(前月比118世帯増)



人口 22万4098人(前月比40人増) 男11万5445人・女10万8653人